

鈴木繁伸  
公認会計士  
公認税理士「この復たの哲学が著  
本（本）の思  
書（書）の思  
著（著）の思  
芳（芳）の思

## 社長が社員に人生哲学を語り、労働観を甦らせる。

京都には日本で一番元氣のある企業といわれる日本電産があります。モーターで世界一を目指し、社長の永守重信は、今はソフトバンクの役員もされています。社員の名刺の裏には、「すぐやる。できるまでやる。必ずやる。」と書かれています。京セラの稲盛氏は、中国の陰鸞録を解りやすく語り、「人生は宿命で決まるものではない、人は自らの力で立命できる。」——つまり運命は創造するものである事を語り、社員の精神的支柱を創っています。主體的な意志を持たせるため、色んな小話をしています。

日本電産と京セラどちらも今回、数字の目標を掲げさせるタイプの社長です。私のクライアントも創業して10年少しで100億以上利益を上げる企業が出てきました。その社長は「詩」を掲げ、営業マンの心情をかたり、日本一の不撓不屈の意志のもつ礼儀正しい営業部隊を創って、日本一の営業軍団と名乗り、自ら先頭にたっています。ソフトバンクの孫社長のリーダーシップとビジョンは、具体的な価値ある目標を段階的に明確に期限を決めて掲げ、社長のためなら死ぬるといふ社員を多く輩出しています。東日本ハウスの創業者、中村功は、二流大学以下の新人社員を1ヶ月で、ものの見事に、命をかけて仕事に取り組み精神を創ります。最初のお給料は、床の間に両親を呼び、背筋を伸ばして、今まで育ててもらったお礼を新人社員に語らせます。その態度が、本物であるため、両親は、感動のあまり涙を流し、自らが20年

以上育て、その事を教えられなかった事を、東日本ハウスは1ヶ月で行ったという感謝の念とともに感極まります。それをどのようにするのか、中村功は、自ら教鞭をとって日本の近代史を語り始めます。日本人が、いかに素晴らしい民族であるかを証明する講義が始まるのです。いわゆるハルノートを突き付けられた日本、東京裁判、君が代の意味、日本の教科書で教えてもらえなかった事実を語り、自らの考え方で近代史を見直し、社員に説き続けます。その結果、新人社員は、この国に生まれてよかった、はじめて本物の事を知ったと日本を誇りに思うようになります。すると日本人として立派な人間になる誓いを新人社員はするのです。高校しか卒業していない人間を、暴走族上がりの人間を見事に再生させるのです。完全に精神構造を変化させ、今、この目の前にある仕事を通じて、社会に貢献し、仕事で一人前になるしか人生で成功することはできないという事を心の神髄まで染み込ませます。

これは社長が自らの生きざまを見せ、社員に人生哲学を語ることから奇跡はスタートするのです。この中村功から出てくる人生観の哲学、世界観の哲学は、深い歴史の洞察や実践的経験を経たものです。よって「中小企業の社長よ、もつと本を読め」と叱責されています。この人生哲学（マイフィロソフィー）こそが、社員の精神的支柱になり、企業の風土、理念になるのです。中小企業の社長は、社員と直接接する事ができるため、志の伝承はしやすくあります。多少の論理の矛盾があっても中小企業では通用します。言葉より、そのトップの生きざまや態度の方が実は影響を及ぼしているからです。上記のどの企業も人材育成を徹底して行っています。最初は自ら先頭にたっていますが、その後、ビジョン、戦略立案と人材育成を専門のように行います。まずトップが社員の人生哲学を熱く語れる事が、経営のスタート、社員をやる気にさせるスタートなのです。

## 人生の究極的目的を考える12項目

※来月号は感性論哲学の人生哲学

- 1: 人間の生きている世界は、時間と空間によって成立しています
- 2: 人間は、時間軸において、「生まれてから死ぬまで、何をしたか」ということと、「空間軸において、生まれてから死ぬまで自分以外のものと、どういう関係をもったか」ということの2つだけが人生の内容となります。  
(感性論哲学では、感性が生命の本質であり、生命において、感性から時間軸において自己保存欲求が、空間軸において種族保存欲求が、湧いてくると考えています。)
- 3: 生命においては、この2つの欲求を実現することが、その生命の目的になります。それを人間に置き換えるとどうなるでしょうか
- 4: 自己保存欲求が理性という能力をもった人間においては意志となります。また種族保存欲求が理性という能力をもった人間において愛となります。
- 5: 平たくいえば、「仕事で成功し、愛する人と結婚し子供を育て、親しい人間関係をたくさんつくる」事になります。よって、人生とは意志と愛のドラマであるといえます
- 6: 意志の究極的実在は、今、目の前にある仕事を死んでもいいと思える価値あるものに、創造的なものに、時代を前へ進めるものに変えていく活動をすることであり、命が最も激しく美しく燃え上がるものであり、不撓不屈の意志は、そこから生まれます。
- 7: 意志の世界は自我を縦軸とし、職業（社会的使命）を横軸として、その骨格は成立しています。意志を実現し仕事で成功するという時間軸とその仕事、社会との関係に役立っているということで仕事の存在理由や社会的使命を果たしているということです。
- 8: 社会的使命を果たしていない意志（例えば、脱税、法令違反、偽装など）は、設けても、意志とはいえません。愛の世界は親子の愛を縦軸として、男女の愛を横軸として、その骨格が形成されています。親子の愛における真実の愛は、生命連関（時間軸）を原理として成立し、愛と信頼の応答関係を、その本質としています。だから愛するとは信じ抜く事です。
- 9: 男女の愛における真実の愛は、出会い（空間軸）を原理として発生し、自我において死に他我の中に生きることである。すなわち死ぬるといふ心情である
- 10: この意志と愛を、どのように顕現し、実現していくかが、人間の究極の目的となる。
- 11: この人間生命の本質である意志と愛を努力して実現しようとする所に生き甲斐が生まれるのです。
- 12: そしてその目的が命を賭けるものになったとき、その関係が命を賭けるものとなったとき、その志と愛は、命より大切なものとなるのです。